全国に紹介されました

2022年
1月7日
しんぶん赤旗

昨年6月に開始した「九条の丘」に立つ大看板「自衛隊は憲法違反」（1976年設置）の新調作業ですが、やっと看板の文字を描く段階に到達しました。

12月26日には、しんぶん赤旗の社会部の記者さんが取材に訪れ（作業の手伝いも）、的確な記事にしてくれました。

「自衛隊は憲法違反」看板新調

茨城・百里基地

66年のたたかいを継ぐ

航空自衛隊百里基地は東に太平洋、西に筑波山を望む茨城県小美玉市にあります。2010年に茨城空港が併設されました。以来、民間旅客機と戦闘機が同じ滑走路を使っています。百里基地を見下ろす「九条の丘」に「自衛隊は憲法違反」の大看板があり、いま、この看板の新調作業が進められています。

（武田祐一）

「自衛隊は憲法違反」の大看板の建て替え作業に参加した百里の会などの人たち＝2021年12月26日、茨城県小美玉市

平和の根っこ

作業場所は、広々とした基地の一角にある「百里平和公園」です。フェンスに囲まれた園内には「百里平和稲荷」や展望台などがあります。看板は鉄枠とトタン製で、1枚の大きさは180㌢×180㌢です。6枚分のトタンを張り終えており、この日は文字の下書きに入りました。

百里基地に隣接した「九条の丘」の「自衛隊は憲法違反」の大看板

看板の建て替え作業をする百里の会などの人たち

「そこに上がってみてください。飛行機の誘導路が『く』の字形に曲がっているのが分かるはずです」と説明するのは、一般社団法人「百里の会」会長の伊達郷右衛門さん（80）。

「戦闘機が日常的に行きかう。昨年末には日米共同演習にも使われた。いつ事故が起きてもおかしくない」と指摘します。

もともとは農地

百里は、国が戦中に農地を接収し、日本軍の「百里原飛行場」をつくった土地です。戦後、農地として解放し、農民が荒れた土地を開拓しました。「ところが朝鮮戦争（1950～53年・休戦）の後、国はまたもや航空自衛隊の基地にすると言い出した。農民は『悲惨な戦争はごめんだ、戦争のために土地は売らない』と56年から66年間、頑張ってきた」と語ります。

地元で生まれ育った梅沢優（まさる）さん（71）は、基地反対農民だった父の遺志を継いでたたかってきました。「大看板は、基地反対運動の象徴の一つです。76年2月に設置されたもので、だいぶ老朽化しています。平和憲法を守るために、いま改めてこの看板が大事だと思いました」

安倍晋三元首相が2020年1月の衆院予算委員会で、この看板を敵視し、「このような状況に終止符を打つ」「そのためにも憲法に自衛隊をしっかり明記する」と述べました。

梅沢さんは「自衛隊は災害支援などをしている。他方、憲法9条は『陸海空軍その他戦力は』保持しないと明記している。戦力を持つ自衛隊が憲法に反するのは明らかだ」と話します。

憲法とたたかう

安倍元首相のもとで土地利用規制法がつくられました。「これは大変なことだと思った」と梅沢さん。百里基地の中には基地反対農民や支援者が一坪地主運動などで守ってきた土地があるからです。「この土地に規制をかけさせないために運動を強めねばというのも看板建て替えの理由です」

水戸市の神原要さん（66）は元高校の社会科教師。「定年後の再任用を終え、本格的に参加するようになりました。教職員組合では『教え子を再び戦場に送るな』と訴えてきました。安保法制が強行されたもとで憲法を変えられたら戦争につながる」と危惧します。

平和公園では毎年2月11日、「平和初午（はつうま）まつり」を行います。

梅沢さんは「看板を公園内に並べて、お披露目できるようにしたい。将来はこのたたかいを若い人たちにも知ってもらえるように公園内に平和資料館をつくりたい」と展望を語っています。

土地利用規制法　米軍・自衛隊、原発施設などの周辺1㌔の土地建物の所有者・利用者を調査・監視し「基地機能阻害行為」や、その恐れがあれば使用させないよう勧告・命令でき、罰則もあります。

百里の会

自衛隊は憲法違反

第19号　2022年1月15日

一般社団法人
百里の会
茨城県水戸市見川 5-127-281
Tel 080-9457-6381
E-mail hyakurip@gmail.com
HP https://hyakurip.web.fc2.com

百里のシンボルは 平和公園 と 九条の丘

この原稿では、「航空自衛隊百里基地」の現状と「百里基地反対運動」の紹介、今後の「百里基地反対運動」の3つについて述べます。

1　航空自衛隊百里基地の現状

小美玉市にある百里基地は、首都圏にある航空自衛隊唯一の戦闘機基地で、首都防空がその任務とされています。しかし実際には首都圏にある横田、厚木、横須賀などの米軍基地を守ることが最大の役割です。F2戦闘機が毎日激しい訓練を繰り返し、周辺住民は騒音被害と事故の恐怖に苦しめられています。

日米共同訓練

2007年には、沖縄の負担軽減の一環として「米軍訓練移転」基地になり、昨年12月にも1週間ほど米軍岩国基地のFA18戦闘機が飛来して、自衛隊機と共同訓練を行いました。

オスプレイの訓練基地にされる

昨年8月からは、千葉県の陸上自衛隊木更津駐屯地に暫定配備されているオスプレイ（輸送機、米国から購入、事故多発の欠陥機）の訓練基地にされました。今後は危険なオスプレイが茨城県・千葉県など首都圏の空を飛び回ることになりかねません。すでに米軍横田基地に配備されているオスプレイが首都圏をはじめ全国を好き放題に飛び回っていますが。

もちろん私たちは反対運動を展開しています。1978年に結成された社共統一組織（今風に言えば市民と野党の共闘）である「百里基地反対連絡協議会」が中心になって、「日米共同訓練反対」「オスプレイいらない！」抗議集会を百里基地正門前で開催し、防衛大臣に中止を要請しました。基地周辺には「オスプレイいらない！」のポスターも貼り出しました。

2　６６年続く百里基地反対運動

次は「1960年代につくられた炭坑節」の替え歌、「百里音頭」です。

百　里　音　頭

一　百里の基地の名物は　ヨイヨイ
くの字曲がりの誘導路
何が名物防衛庁
くの字で苦労が絶えませぬ
サノヨイヨイ

二　農民おいらの団結で　ヨイヨイ
曲げたくの字の誘導路
なんでくの字がおかしかろ
日本の政治も曲がってる
サノヨイヨイ

三　射撃場山から見おろせば
基地のお庭が丸見えよ
空将閣下や一佐二佐
アメコウに頭が上がらない
サノヨイヨイ

百里基地反対運動の名物と言えば、この歌にもあるように誘導路を「くの字」に曲げている「平和公園」と基地が丸見え「九条の丘」（射撃場）の2つです。どちらも百里農民の団結が生み出した反対運動のシンボルです。基地の真ん中にある「平和公園」は世界的にも有名で2020年には2000人もの海外からの訪問者がありました。どちらも一坪運動が行われ、合計で1000人以上が地主になっています。

基地を見下ろす 自衛隊は憲法違反 の大看板

「平和公園」には百里稲荷神社があり、毎年2月11日は盛大に「百里初午まつり」が開かれています。「九条の丘」には1976年に設置された「自衛隊は憲法違反」の大看板があり、基地のエプロン（管制塔などがある区域）を見下ろしています。「自衛隊の諸君がこれ

から命をかけて飛び立つという横にそんな看板がある。自衛隊の子どもも家族も見る。悲しい思いをしますよ」。安倍晋三元首相は、昨年6月のラジオ番組で「看板」を持ち出し、自衛隊違憲論に終止符を打つために改憲が必要だと訴えました。安倍氏は首相在任中にも国会で「看板」を非難していますが、ますます「看板」の存在が重みを増しています。

3　百里基地反対運動を より強く、大きく、広く

「戦争のために土地は売らない」と基地反対運動を闘った農民の多くは他界されました。現在の反対運動はそれを受け継ぐ現地の方と支援する方々により、継続されています。2018年には「平和公園」「九条の丘」の所有権登記と維持・管理のために、一般社団法人「百里の会」が設立され、土地の維持・管理作業を担っています。みなさんの参加をお待ちしています。

今年は、土地利用規制法との闘いも

さて、昨年6月に短期間で強行採決され、成立した「土地利用規制法」が、私たちの運動に重大な影響を及ぼす可能性があります。この法律は基地などの「重要施設」、原発などの「生活関連施設」の周囲おおむね1kmと国境にある離島を「注視区域」「特別注視区域」に指定して、そこにある土地・建物の利用状況を調査し、施設や国境離島の「機能を阻害する行為」を取り締まろうとするものです。誘導路を曲げている「平和公園」そのものが「機能を阻害する行為」とされかねません。安倍氏流に解釈すれば、「九条の丘」の「看板」もそれに該当するかも知れません。この法律は今年9月に施行される予定ですので、状況次第ではみなさんのお力をお借りすることになりますので、よろしくお願いします。

いま百里では、平和公園に「憲法九条の碑」を建立する計画が持ち上がっています。また「百里の会」が所有する土地をより多くの市民に共有して貰うための準備も進めていますので、具体化した際には、みなさんのご協力をお願いします。

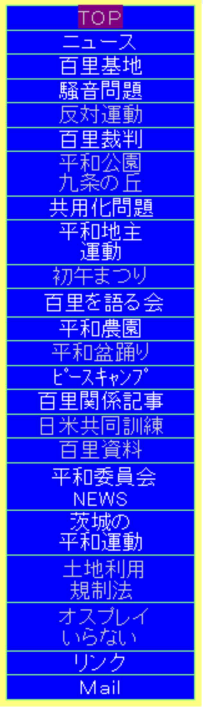
2月11日は初午まつり

最後になりますが、今年も2月11日に「百里初午まつり」を開催します。毎年400～500人に参加していただき、御神酒を酌み交わしながら平和を語り交流する場になっています。ぜひ百里においで下さい。百里の情報は、インターネットで「百里基地反対運動」と検索してご覧下さい。

＊この記事は、「守谷平和の会」ニュースに寄稿したものに加筆しました。

（百里の会　栗又衛）

紹介　ホームページ百里基地反対運動



このホームページは百里基地反対運動の過去・現在をデータベースのように記録しています。管理者は百里平和委員会です。

http://hyakuri.sakura.ne.jp/

百里で始めた開拓生活　（その4）

梅沢　優　（百里基地反対同盟・百里の会）

中学校に入るころ

目の前には 200ha 近い野原が広がっていました。そこには沢山の鶉やヒクイナ、千鳥,雷シギなどが賑やかでイタチの数も多かったです。古井戸の場所は知っていますから、子供たちは何十丁もの罠をかけました。それぞれにシマがあり、30丁くらいが憶えていられる範囲でした。獲れるのはおバカなホオジロだけでしたが、それでも一日3～4匹は焼き鳥になりました。毎日がキャンプのような生活ですから食べられそうなものは何でも食べます。

夏は、桑の実や木苺くらいですが、秋が近付くと野ぶどうから山栗・きのこ・アケビなどが豊富にあり、冬は秋の内に目ぼしい山芋の元に蒔いた麦を頼りに掘るのです。

豚の密殺は大人がやりましたが、ニワトリは小学生の担当でした。しかし、軍鶏は首が手でひねり切れずに難儀したものです。ヘビやカエルは焼くとおいしいのですが、野兎などの野生はひどくまずいのです。そんな食糧事情ですから身体は育たずにひどく貧弱でした。

基地には当初バリケードもなく、自由に出入りが可能でどこにでも行けました。歩哨も立っていて小屋に遊びに行くと嬉しそうでした。完成したコントロールタワーにもいつでも登れて富士山を初めて見ることが出来たのです。隊員はどこにでも行進をして、疲れると小学生の私たちに日本兵を殺したというカービン銃を担がせます。ご丁寧に操作法まで教えてくれますから、弾があれば撃てるようにまでなりました。自宅にも銃を持ったまま演習に来て、井戸水をせがみます。家のまわりの草藪に隠れている隊員の所に行くと、嫌がられ手で追い払われます。だんだんと工事が進み基地の下水を処理するべく一里も離れた川まで暗渠（あんきょ）が掘られ、トロッコと線路が放置してありましたので、子供たちは学校帰りにトロッコをひっくり返し、持参のスパナで車軸の砲金を何十台とやっつけました。アメリカの機銃弾はもう売るほどは見つからず、現金収入としてはとても良かったです。

下水が完成すると探検です。地下5～6 m にある直

戦争のための権利侵害許さぬ

茨城・百里基地反対同盟
梅沢　優さん

自衛隊は憲法違反

百里基地に向かって立てられた「自衛隊は憲法違反」の看板（百里基地反対同盟ホームページから）

菅政権が強行を狙う米軍・自衛隊基地周辺住民を調査・監視し運動を規制する「土地利用規制法案」の危険性について、航空自衛隊百里基地（茨城県小美玉市）の反対運動にとりくむ百里基地反対同盟の梅沢優さん(71)に聞きました。

◇

私たちは百里基地の反対運動を半世紀以上続けてきました。土地利用規制法で真っ先に狙われるのは、こうした住民運動であり、

「自衛隊は憲法違反」の看板や監視塔の撤去ではないかと思います。

百里基地は戦争中、日本海軍の飛行場としてつくられ、終戦の日の8月15日の朝も8機の特攻機が飛び立ち1機も戻ってきませんでした。戦後、旧満州（中国東北部）からの引き揚げ者などが入植し、農地の開拓が進みますが、1956年に、自衛隊基地建設計画が持ち上がり、農民をはじめ住民が反対闘争を展開しました。

64年に結成された百里基地反対同盟は、基地内の土地を一坪ずつ買ってもらう「一坪運動」を呼びかけ、国は滑走路に並行する誘導路の土地の一部が買収できず、「く」の字に曲がることになり、自衛隊は憲法違反だと訴える裁判闘争が31年間にわたりたたかわれました。この土地は百里平和公園として整備され、毎年2月に「百里初午まつり」が開かれ、平和と基地のない日本をつくろうとアピールしています。

私たちが一坪地主運動で確立した旧日本海軍の射撃場跡の山は「9条の丘」と名付け、「自衛隊は憲法違反」の大きな看板が立てられ、「自衛隊明記」の改憲にノーをつきつけています。

法案は規制対象や範囲など法文上の限定がなく、政府のやりたい放題で国民の権利を侵害するなど、民主主義社会ではあってはならないことです。

戦争をするために個人の権利を侵害する法律は憲法9条と相いれません。絶対

2021年
6月10日
しんぶん赤旗

径1 m 位のヒューム管の中を1人で歩くのですが、何㎞もありますから外に出てみるとすっかり日が暮れていて、急いで家路についた記憶があります。

成績はどうあれ、年月が経つと卒業となり中学校に入ったのですが、2つの小学校が一緒になりましたので友達は一気に増えました。

3年後には集団就職がまっていますから毎日がお遊びの連続でした。授業が嫌になれば、近くの掩体壕の中で親父からくすねたタバコを吸い、学校が終われば数人で遊びに行きます。私は友人と崖に洞窟を掘りました。交替で何カ月も掘ったのですが結局未完成でした。大雨で近くに池が出来た時には、家にあった勝手口の大きな開き戸を友人と運び舟遊びです。野良仕事から帰った母は戸のない自宅にびっくり、遊び終わった戸は持ち帰りませんでしたから戸のない家になったのです。

中学になると基地も大分できてきて飛行機が飛んでくる様になりました。低空飛行のセスナ機は足が出ているので、電線に引っ掛かりお尻を立てて墜落です。見に行くと血が付いていましたが、死なずに電線も切れませんでした。テキサンという単発機が出来たばかりの誘導路に降りてくると、タッチをしに行くのです。運転手は機上で真っ赤になって怒っていますが、触ると一目散にバリケードの外に戻らないと警務隊がジープですっ飛んで来るのです。当時はフェンスでなく、手で拡げれば入れたのです。遠くから見ると格好いいのですが、近付くと運転席に登る辺りは凹みがあり、夜目、遠目の話は本当だと思いました。

（次号につづく）

＊茨城AALA会報　176号　2021年5月1日より転載